



住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域の皆様の健康寿命を延ばす医療を支えるために欠かせないのが Qualis（クオリス）です。

内科

**●医療法人 たくま会 福原内科医院
（愛媛県松山市）**



JR予讃線市坪駅から車で5分ほどの住宅地に「医療法人 たくま会 福原内科医院」があります。西山麻里院長は「かかりつけ医として、地域の皆様がいつまでも住み慣れた地域で暮らせるよう、健康寿命延伸に貢献したい」と常々考えていました。そこで、大学病院、地域の基幹病院等で長年にわたり培ってきた糖尿病学会専門医・消化器病専門医・消化器内視鏡専門医としての臨床の技術・知識を活かし、地域医療の現場で自分の理想とする患者様に寄り添う診療を行うことを目的として、2019年4月に同医院を継承しました。

同医院では地域のかかりつけ医として急性疾患、慢性疾患の検査・治療を行うと共に、専門医として大腸がん検診や生活習慣病の早期発見・早期治療に努め、さらに、認知症サポート医として物忘れ外来を開設して認知症の診断、治療、介護の相談や助言も行っています。現在、同医院の診療を支えているのが2021年7月に導入した電子カルテシステムQualis（クオリス）です。

紙カルテから電子カルテに変更したことにより大幅な業務効率化が図れ、医師、看護師、受付の3名体制での運営が可能となりました。「臨床検査との連携が図れる。操作がシンプルでカスタマイズしやすい。サポート体制がしっかりしていることなど、他社と比較して当院に最も適していると判断してQualisを導入しました。導入後は画像診断、セミセルフレジ、分包機、薬袋プリンターとの連携により、過去の画像検索、会計、薬袋や薬包への記載が自動化でき、人為的ミスがなくなり、医療事務と看護師の業務も楽になりました」

（西山院長）。

地域の方々の健康寿命を延ばすため、生活習慣病やフレイル、認知症の早期発見、治療につながる活動に取り組む同医院の医療を支えるために、Qualisは大いに活躍しています。

『文藝春秋』2022年3月号